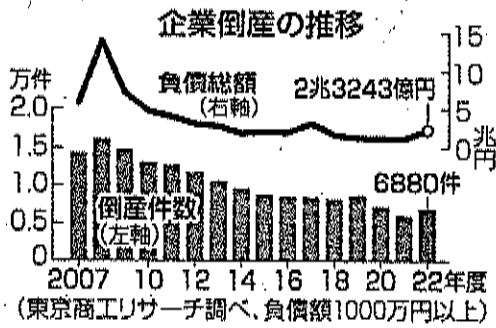


企業倒産 3年ぶり増

22年度 原材料高打撃、6880件



商工リサーチ

東京商工リサーチが10日発表した2022年度の企業倒産件数(負債額1000万円以上)は前年度比15.0%増の6880件と、3年ぶりに増加に転じた。原材料価格の高騰が打撃となり、価格転嫁が進展しない中小・零細の倒産が増えました。

産業別では、08年度以来14年ぶりに10産業のすべて

で前年度を上回りました。運輸業は、燃料費の高騰や

人件費の増加が響き43.8%増の351件。農・林・漁・鉱業は、飼料価格などの高騰を受け51.6%増の91件と大幅に増えました。コロナ関連倒産は46.4%増の2602件でした。負債総額は2倍の2兆3243億円。このうち自動車部品

大手マレリホールディングスが5割弱を占めました。23年3月の倒産件数は前年同月比38.4%増の809件、負債総額は1474億円でした。

帝国データバンクによると、22年度に物価高が原因で倒産した企業は463件で、前年度比3倍超の水準となりました。人手不足などで人件費も上昇しており、「コスト増の重さに耐え切れなくなってきた」と指摘しています。